

報道機関 各位

「IoT機器を活用したフレイル予防事業」の実施について

市では、「スマートライフ推進事業」として、Society5.0を見据え、日常生活にAIやIoT等の次世代技術を取り入れることにより、心身の状態を可視化し適切な健康管理を行うなど、生活の質を向上させ、豊かな地域社会の構築に取り組んでいるところです。

今般、その新たな取り組みとして、フレイルの早期発見・予防を目的とする「IoTを活用したフレイル予防事業」を実施しますので、お知らせします。

1 事業概要

本市では、要介護認定率が年々上昇し、全国平均や県内他自治体と比べて高い状況にあり、要介護リスクが高まるフレイル(※)の進行が危惧されている。

このことから、希望者にモーションキャプチャ付きの専用スパッツを装着し歩行していただき、専用のソフトウェアで解析し歩行が見える化するとともに、簡易的なアドバイスを行うことで、フレイルの早期発見・予防に繋げるもの。

2 実施方法

MaaS車両に測定機器を搭載し、「お出かけ市役所」として公民館や集会所へ訪問した際や健康イベント等で実施する。

3 対象者

測定等を希望する市民

4 期間

令和5年1月～3月

5 連携先

豊島株式会社(令和3年1月「スマートライフ推進に関する連携協定」締結)

6 その他

移動型での取り組みは全国初

※ フレイル

健康な状態と要介護状態の間の状態で、心身の活力が低下してしまっている状態のこと。